

BCAO 関西支部 第81回勉強会議事録

日 時： 2013年8月7日（水）18:30～20:30

場 所： 大興電子通信株式会社 関西支店 会議室

議 題： 及川 学（大興電子通信株式会社）

「東日本大震災をもとに災害対策で学んだコスト削減とお客様守る化の事例」

座 長： 山口 書記： 伊藤

出席者： 川口、角、萩原、福島、伊藤、鷺山、山口、野原、速水、小友、小山、鶴谷、徳永、
西濱、北山、及川、田淵、梅田（敬称略）

<議題>

「東日本大震災をもとに、災害対策で学んだコスト削減と、お客様守る化の事例」

<テーマ>

1. 大興電子通信株式会社 及川様 ご挨拶（会社概要、自己紹介）
2. 東日本大震災のその後&支援活動紹介
3. お客様守る化&コスト削減事例紹介
4. 災害対策&コスト削減事例（対策費用の捻出事例）紹介
5. 災害・事業継続の予算確保

<ご講演概要>

1. 大興電子通信株式会社 及川様 ご挨拶（会社概要、自己紹介）
 - －創立60年、東京本社（東証2部上場）、社員数1,000名、主な事業は、コンピュータ販売・ネットワーク構築・ソフトウェア開発・工事、宇宙衛星追跡システム等、クライアントは流通サービス業が40%、製造業が40%という割合。
 - －及川様は、大興電子通信株式会社上席理事関西支店長、元ビジネスイノベーションセンター長、中小企業診断士。
 - －ビジネスイノベーションセンターでは、事例情報の提供を行う為に、震災以降お客様の対策情報の収集、及び提供活動を推進。方針は、導入効果の定量化、実際の事例等の情報提供、IT以外も含めた経営課題解決。東日本大震災以降お客様は、コスト削減（震災においてはキャッシュ・フローが問題になる事が多く、BCPにはコストをかけられない企業に対してコスト削減をキーに対応）、売上拡大、キャッシュ・フロー効率化、事業継続・災害対策に関する事例を求める。
2. 東日本大震災のその後&支援活動紹介
 - －変化の無い被災地に対して、各種芸人による被災地ボランティア・ショーの開催、NPO復興支援奥州ネットとの情報共有、イベント開催、就職支援他、被災者のニーズの変化に対応した支援を活動。

－支援ハウス 岡村精二氏（山口県議員、NPO 森と海の学校理事長）と共に、組立式「住宅復興支援ハウス」（特許申請中）での支援活動。

3. お客様を守る化&コスト削減事例紹介

－「見える化」対策（どこに、どの位あるか）

⇒在庫削減でキャッシュ・フロー改善へ

⇒在庫日数・翌月生産予定の有無・販売停滞品等の視点で問題在庫を即座に摘出

⇒重要製品にはお客様を守る化基準も設定

⇒お客様を守る化計画立案

4. 災害対策&コスト削減事例紹介

－コスト削減・災害対策費用の捻出（安否確認）

⇒地震後の生徒の安否確認を、導入済みの携帯メールを活用したシステムを利用。

⇒安否確認&給与明細の電子配布（モバイル給与明細）を利用。

⇒ペーパーレス（伝票の電子送信化）

⇒サーバーを全てが外部センターに設置（システムのリプレイス・アウトソーシング）

－固定費削減が重要

⇒電気使用量の見える化（使用実態に合った供給契約への見直し）と遠隔監視

⇒電力会社との契約変更、電気保守会社の変更、電気使用量の削減

⇒書類の申請等の削減

5. 災害・事業継続の予算確保（お客様を守る化&コスト削減事例参照）

－中期計画、投資計画を事業継続の視点で優先度を見直す。

－節電などの災害対策と、コスト削減を同時に行う施策を検討する。

－対策費用を、社会保険等他の分野のコスト削減を行う事で、カバーする事を検討する。

以上